

研究実践の成果・課題

◆1 アンケート結果より

4月より、アンケートを実施し、全校やA児の変容を把握してきた。
以下のことが読み取れた。

	4月	7月	12月
問1	3	2	4
問2	5	3	5
問3	5	3	5
問4	5	5	5
問5	4	3	5

【A児のアンケート結果】

※数値は、右グラフ下の回答番号

・授業での話合いの場面では、友達の考えを共感的に聞き、よいところを積極的に探す態度を育ててきた。その結果、「問1 自分のことが好きである」で、肯定的な回答が増える(※)など、自己有用感・自己肯定感の高まりが見られる。

・授業では、間違いを指摘するのではなく、「分からなかったら聞いてね」という意識で話合いをする雰囲気づくりに取り組んだ。これにより、優しい言葉遣いができ、聞く側の児童も、教えてもらうことのうれしさを感じることができるようになった。それが、問4の「人の失敗を許すことができる」という意識の高まりにつながっていると思われる。

・2・3ページで紹介したA児は、「本人の願い」に沿って、自信をもたせる言葉掛けをこまめに行い、評価してきた。アンケートの結果は、左上表のように、全ての項目において、12月の値が4月と同じかそれ以上になった。A児の自己有用感・自己肯定感が高まっていることが読み取れる。

◆2 A児の「年度末アンケート」の「できることになったこと」欄の記述より

3学期は、勉強を**あきらめず**に取り組むことができました。
そして、絵を**ていねいに細かく**かけるようになりました。
大きな声であいさつができるようになりました。(A児の記述より)



年度当初は「分からない」と、活動の最初からあきらめる場面が度々見られた。しかし、**児童理解を基盤とした支援の継続は、1年を経て、何事にも粘り強く取り組もうとするA児の成長につながった。**
また、大きな声でできる挨拶は、**自信がついてきたことの現れ**であり、**A児の内面の成長が伝わってくる。**

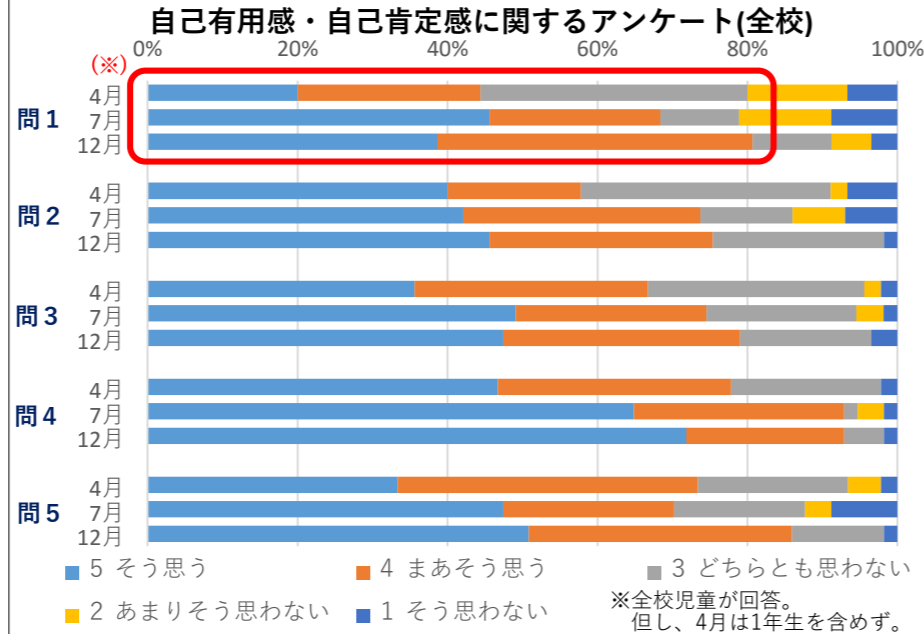
「願い」に寄り添う支援の継続が、自己有用感・自己肯定感の高まりにつながる結果に！

今後の実践の充実に向けて…

本実践が、児童の自己有用感・自己肯定感を高める上で、大いに有効であることが、多くの児童の姿から実証できた。今後は、本実践

を「〇〇小スタンダード」として、実践を継続する。さらに「学習指導」と「生徒指導」を一体化した授業づくりを目指して、今後も教師の授業力の研鑽(けんさん)を重ねたい。

アンケート項目
問1 私は、自分のことが好きである
問2 私には、人から認められていることがある
問3 私は、人の役に立っている
問4 私は、人の失敗を許すことができる
問5 私には、よいところがある



児童生徒理解を基盤とし、学習指導と生徒指導を一体化した授業づくり

小学校実践編



学校で、児童の生活の中心となるのが授業です。授業には、「学習指導」と「生徒指導」の二つのねらいがあります。

本テーマは、児童生徒理解を基盤とし、「学習指導」と「生徒指導」を一体化した授業を通して、児童が自己有用感を味わい、自己肯定感を高めることを目指して設定したものです。

本リーフには、「生徒指導リーフ No.7-1 (理論編)」に基づいた研究推進校の取組例を、「No.7-2 (実践編)」としてまとめました。

本リーフを参考に、本テーマを具現化した効果的な取組を実践してほしいと思います。

取組の重点

「個人カルテ」と「振り返りの記録」の活用

◆1 児童の実態

- 全校児童数が60名ほどの少人数であり、学年を越えたつながりが強く、全体的に仲がよい。
- 児童同士のトラブルなどがあっても、仲たがいが続くことなく、それらを修復できる人間関係が築けている。
- アンケート結果からは、自己有用感・自己肯定感が高い児童が多い。
- △ 「自分のことが好きである」という設問の回答は高くない。

◆2 目指す子供の姿

- ① 自ら考え、進んで学び取ることができる子供
- ② 共感的に受け止め、互いに認め合うことができる子供
- ③ 自分の思いを自分の言葉で表現できる子供



◆3 主な取組

- ・「個人カルテ」の活用 …… 児童理解と一人一人のよさを伸ばすための具体的な言葉掛け。
- ・「生徒指導の三つの機能」(※)を意識した学習指導 …… ネームプレートの活用、ペア・グループ学習等。(※…自己存在感を与える、共感的人間関係を育成する、自己決定の場を与える)
- ・「振り返りの記録」の活用

振り返りカード	授業の最後に、その授業を振り返り、「自分ができたこと、自分のよかったところ」「級友のよかったところ・頑張っていたこと」を記録するカード。
振り返りタイム	一日の最後に、その日の生活や学習を振り返り、「自分の成長」「級友からかけてもらってうれしかった言葉」「級友に共感したこと」などについてノートに記録し、発表する時間。内容に応じて、記録を掲示板に掲載し、全校児童にも紹介する。



【共感的に学び合う児童】

児童生徒理解を基盤とし、学習指導と生徒指導を一体化した授業づくり

児童理解を深める手立て 「個人カルテ」の作成と活用

児童ごとに、事実や「本人の願い」等の基本情報を記入

- ・ 担当が把握していることだけでなく、他の職員や保護者、学区の方々とも情報交換をし、客観的事実を記録する。
- ・ カルテの記録から、個々の児童に対する願いをもち、その実現のための支援策を考え、授業に位置付ける。

【例】A児のカルテ（基本情報の一部）▼

3年1組 No.10 児童氏名 A児			
学級の係	タイマー	部活動	ポイント!①
クラブ活動	鼓笛	得意教科	音楽
得意なこと	ダンス	よいところ	優しい性格
本人の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 手を挙げて発言するときに、恥ずかしくなってしまうから、そう思わないように、どんどん手を挙げたい。 ・ 最後まで自分で考えられるようにしたい。 		
保護者の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体力がないので、運動にどんどん取り組んでほしい。 		
具体的な記録			
4月13日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「1年生を迎える会」で、「お祝いのダンス」をグループの中心となって考える。リズムをとりながら、周りの友達に教えていた。 		

児童理解をもとに、「本人の願い」にも寄り添う支援策を考える。

日々の行動や発言の事実、変容などの記録を蓄積

- ・ ひと月に数個、簡潔な記録を蓄積していき、支援や言葉掛けを考える資料とする。

【例】A児のカルテ（記録の一部）▼

A児 具体的な記録	
4月20日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 前担任から、昨年度は最後まで取り組めないことが多かったと聞いていたが、前担任の様子を見てもらうと「頑張ろうとする意欲がとても伝わってくる」と、前担任が言ってくれた。
5月14日	<ul style="list-style-type: none"> ・ 課題に取り組むとき、これまでのように「分からない」と言わず、手を挙げて質問が言え、あきらめずに取り組むことができた。

ポイント!② 変容の記録を残すことで、更に具体的な支援につなげる。

A児 具体的な記録	
11月1日	<ul style="list-style-type: none"> ・ ふだんは思ったことや考えたことに自信がもてずにいたのだが、この日は自信をもって書く姿が見られた。 ・ 2学期の最初に「できない」という言葉をよく発する時があったが、最近、「できない」「分からない」の言葉が減ってきているように感じる。
12月3日	<ul style="list-style-type: none"> ・ B児が「今日、Aさんが頑張って勉強していたから、私も頑張りたい」と、授業の振り返りで発言。それを聞いて、とてもうれしそうだった。

A児に関する級友の「振り返りカード」の記述を記録するなど、特に自己有用感の高まりが印象に残った授業の、教師の見取りを記録し、その後の支援につなげたい。

ポイント!③

自己有用感を味わわせ、自己肯定感を高める実践例③ 「振り返りタイム」の実施

一日の最後に生活や学習を振り返り、「ノート」に記述し発表

じぶんのじぶんを くりかえしよんでなおせてうれしかったよ。もっとかきたくなったよ。

ポイント!⑨

ノートの記述をもとに、自信を高める言葉掛けをしたい。

1年 **F児** 国語作文の授業にて
本人の願い：たくさん文を書けるようになりたい。

Gさんは自己有用感が味わえ、掲示板上で紹介することで、全校児童が「えがお」の大切さにも気付くことができる。

ポイント!⑩

今日、Gさんに「サツマイモをくれてありがとう」といったら、えがおはなしてくれた。うれしかった。

1年 **H児** 生活科の授業にて

自己有用感を味わわせ、自己肯定感を高める実践例② 「振り返りカード」の活用

授業の最後にその授業を振り返り、「カード」に記述し発表

A児 振り返りカード	
12月3日	算数
先生にほめてもらって、整理したらできた。これからも、 <u>しっかり考えれば自分できると思っ、がんばりたい</u> 。	

「自分ができる」という自己指導能力の高まりに気付きたい。

ポイント!⑥

【朱書き】そうですね。自分で考えるということが、とても大切です。『どういふことか』が分かると、どんな問題に出会っても、とくきかけを見つけることができますね。

級友の行動に共感する記述と、自己指導能力が育まれつつある「すぐに」の言葉から、向上心の高まりを捉えたい。

ポイント!⑦

Cさんが、Dさんに教えていました。何も言われていないのに、自分から教えに行つてすてきなと思いました。周りをよく見ているなあと思いました。私も周りをよく見て、自分のことが終わったら、すぐに教えに行きたいです。

6年 **E児** 国語作文の授業にて
本人の願い：友達と仲良くし、役に立ちたい

日頃のE児のよさを自覚させ、本人の願いに即した行動の事実を称賛する記述をし、自己有用感を味わわせたい。

ポイント!⑧

【朱書き】そうですね。早くできたときには、友達に教えに行つてくれるね。ありがとう。

自己有用感を味わわせ、自己肯定感を高める実践例① 生徒指導の三つの機能を生かした学習指導

やる気や自信等をもたせる、言葉掛け

A児 振り返りカード	
11月1日	道徳
みんなが主人公の気持ちを考え、意見を出し合うことができた。 <u>私もはずかしがらずに、たくさん発言できてよかった</u> 。	

【教師の願い】この道徳の姿勢と意欲を算数でももてるよう言葉掛けをし、つぶやきを拾い上げ、支援していこう!

算数「小数の10分の1について考えよう」
授業記録 (12月3日)

どうして0.1は、「10分の1」の位というのだろうか?

0.1の10個分が1だから、「10分の1」の位になる

どういうことか詳しく教えてくれるかな

1を10で割っていて、10分の1で、その位のことだから

あ、そっか!

みんな分かった?

分かったよ!

Aさんのおかげで、みんなが分かったって!じゃあ、今の説明を図でも描いてみよう。

どうやって描こう、うん...

Aさんの説明が分かりやすかったから、描きながら整理するのいいよ。Aさん、やってごらん。

こうするのいいかな。

なるほど、よく考えたね!

全ての教科で、「願い」を意識した支援をし、自己の成長を実感させ、成長させたい。

ポイント!④

【教師の見取り】「Aさん、積極的に発言できているな。もう少し踏み込んで考えさせよう!」

考えを引き出したり、周りの力になっていることを知らせたりする言葉掛け（吹き出し内・太ゴシック体）等を意図的に重ねていく。

ポイント!⑤